

寸言

ミネベアミツミ株式会社
特機事業部長
石山 公也



航空宇宙産業発展の一助に

令和3年6月よりミネベアミツミ株式会社特機事業部長に就任いたしました石山公也です。

2017年10月に寸言報告をさせていただきました石川宏の後任として着任いたしました。

弊社の概要につきまして前任より皆様に報告しておりますので、最近のトピックスとして弊社を取り巻く環境、特に航空宇宙の事業をしておりますミネベアミツミグループのCEROBEA（セロベア）についてお話ししたいと思います。

まず最近の弊社を取り巻く環境ですがコロナ禍において民間航空産業向け事業は相変らずの状況であります。メディアの報道によりますと海外においてはユニテッド航空がボーイング、エアバス機を270機発注したこと、ボーイング、エアバスが黒字化したこと、米国内の国内旅客の戻りもあり明るい兆しも出てきております。航空会社におけるCO2削減取り組みも進みます。

また私が担当しております特機事業部においては防衛製品を主体としており正面装備がなく輸入品に押されながらも、補用品・修理の受注に努めております。しかしながら新しい傾向としましては精密機械加工の推進、枯渇部品の再生・復元を主に防衛向けMROビジネスに力を入れております。枯渇した部品を再設計し新たに世に出すことにより航空機を含む防衛製品の維持に貢献できると考えてお

ります。

また今回紹介させていただきますCEROBEAは1990年にフラウンホーファー研究機構からスピニアウトし会社が設立されました。

2013年6月にミネベアミツミ株式会社のグループ会社であるNew Hampshire Ball Bearings, Inc (NHBB) の傘下に入りました。

(HP <https://cerobear.com/>)

CEROBEARはセラミック軸受の大手メーカーであり、転がり軸受技術のパイオニアです。CEROBEARは現在、約120人の高度なスキルを持つ技術スタッフを雇用しています。先進的なセラミック材料、革新的な製造工程、卓越した計測技術を駆使し、オーダーメイドのベアリングで技術的課題の解決案を提供いたします。SAFRANやGEを始めとした大手航空機エンジンメーカーやNASA他航空宇宙局にてもセラミック製ベアリングを採用いただいております。最近の話題としましては火星探査車にも約50種類のセラミックベアリングがさまざまな領域に設置されております。

ご活用いただければと思います。問い合わせがありましたら、弊社営業部門にご指示願います。

今後ともミネベアミツミグループとして航空宇宙産業発展の一助となれば光栄でございます。

皆様のご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。